

しなののうた

野苺の赤き実見つけ小躍りす
幼き頃によく食べたりと



杉田小百合

しなののうた

幾台のくるまに越され峰ゆけば薄芒をわたる風に抱かる

杉田小百合



しなののうた

山風を受けて揺らめく蕎麦の花見渡す限り白き波打つ



杉田小百合

しなののうた

迎えるはみどりヶ池の真向いに迫りくるがの戸隠連峰

杉田小百合



しなののうた

ちよろちよろとやがてさらさら音をたて鏡池へと水は流るる



杉田小百合